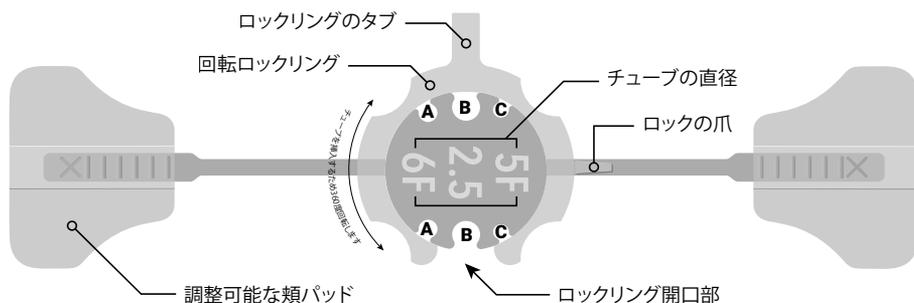
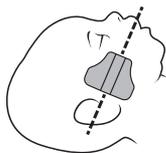


1. 乳幼児の気道を確保します。
2. 製品の仕様ガイドをもとに、ArcAngelのどのサイズが適切かを確認します。
3. 頬パッドを耳の前に付着してから、ぴったりフィットするようにArcAngelのアームをパッドに通します。または、先に頬パッドをアークに設置してから、パッドを皮膚に装着しても構いません。
4. 回転ロックリングの開口部を開いてベースからチューブを溝に押し込み、チューブがしっかりと溝に入るように、下から上に押し上げます。外側のリングを固定位置まで回転させ、チューブを固定します。
5. 栄養チューブまたは胃内容吸引チューブが必要であれば、チューブを患者さんに挿管してから外側のロックリングを適切な挿入口まで回転させ、チューブを溝に挿入します。それから外側のロックリングを固定位置まで回転させて、チューブを固定します。
6. チューブを調節するには、外側のロックリングを希望の挿入口まで回転させてから、溝に固定したままの状態、0.25cmのハッシュマークを目印としてチューブを抜き差しし、外側のロックリングを固定します。
7. 緊急時あるいは試験抜管を行う場合は、パッドやその他のチューブはそのままにしておき、頬パッドを動かないように抑え、ゆっくりとArcAngelを頬パッドから抜き取ります。必要であれば、同じArcAngelを再度頬パッドに差し込み、引き続き使用することができます。



チューブホルダー： A. 胃内容吸引* B. 気管内* C. 栄養*

* チューブホルダーサイズの組み合わせは、以下の表をご覧ください

乳幼児の体重	サイズ	ETTのサイズ	ETT外径 装備品範囲	栄養チューブの サイズ	胃内容吸引チューブの サイズ
≤1000gm	0	2.5mm	3.3 - 3.7 mm	5F	6F
1001-2500gm	1	3.0mm	4.0 - 4.5 mm	6.5F	8F
2501-4000gm	2	3.5mm	4.5 - 5.0 mm	6.5F	10F
4001gm+	3	4.0mm	5.0 - 5.5 mm	6.5F	10F